

感染症発生動向調査情報による徳島県の患者発生状況（平成23年）

徳島県立保健製薬環境センター

石田 弘子・片山 幸・嶋田 啓司

Infectious diseases surveillance reports in Tokushima Prefecture in 2011

Hiroko ISHIDA, Miyuki KATAYAMA and Keiji SHIMADA

Tokushima Prefectural Public Health, Pharmaceutical and Environmental Sciences Center

I はじめに

当所では、「徳島県感染症発生動向調査実施要綱」に基づく徳島県感染症情報センターとして、徳島県における感染症の発生情報の収集、解析を行っている。解析した情報は週報や月報として医療機関や県民等に還元し、感染症の拡大防止や公衆衛生の向上に努めている。

今回平成23年1月から12月までの患者発生状況についてまとめたので報告する。

II 方 法

感染症発生動向調査における患者届出対象疾患は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により指定されている一類から五類感染症、新型インフルエンザ等感染症の77疾患（全数把握対象疾患）、指定届出機関から届出を受ける26疾患（定点把握対象疾患）とした。

感染症の発生情報は、定点把握対象疾患のうち、内科、小児科、眼科及び基幹定点週報分は、月曜日から日曜日までの1週単位で、性感染症定点及び基幹定点月報分は月単位で集計解析を行った。

III 結果及び考察

1 全数把握対象疾患の届出状況（表1）

(1) 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

(2) 二類感染症

二類感染症は、結核291件の届出があり、月別届出数は16～43件で推移した。年齢別では、すべての年齢層から届出があったが、年齢が高くなるのに伴い届出数が多

くなり、60歳以上が全体の約56%を占めているが、20～50歳代の割合は、42%（前年：29%）と増加した。症状別では、「患者」198件（内訳：肺結核143件、その他の結核42件、肺結核およびその他の結核13件）、「疑似症患者」1件、「無症状病原体保有者」92件であり、70歳以上が「患者」の半数を占めている。

(3) 三類感染症

① コレラ

コレラは12月に1件届出があった。検出された菌は01エルトル小川型で、フィリピンからの輸入感染例であった。

② 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は14件の届出があった。5月～10月に届出があり、8月が最も多く夏季を中心に発生した。診断の類型では「患者」9件、「無症状病原体保有者」5件であった。年齢層では、「患者」は20歳未満および50歳以上、「無症状病原体保有者」は30歳代および60歳代であった。症状別では、「患者」のうち、腹痛が57%、水溶性下痢が57%、血便が43%、発熱が21%見られた。重症の合併症である溶血性尿毒症症候群（HUS）は報告されていない。原因の特定には至っていないが、発症前に自宅調理で生の肉（牛レバーなど）を喫食していた事例が5件あった。

(4) 四類感染症

① E型肝炎

E型肝炎は2月に1件の届出があった。推定感染経路は経口感染であり、発症する約3週間前にイノシシの生肝を喫食していた。

② デング熱

デング熱は10月に1件の届出があり、推定感染地域はインドであった。過去の状況は、平成14年に1件、平成22年に2件であり、いずれも海外流行地での感染であった。

③ 日本紅斑熱

日本紅斑熱は10件の届出があり、過去5年間（年間2～5件の届出）と比較して、やや増加した。届出月は、6、7月を中心に4月～10月、12月であった。年齢層はすべて50歳以上であり、県内でマダニ等に刺咬され感染したと推定された。

④ マラリア

マラリアは6月に1件（病型は「三日熱」）の届出があった。推定感染地域はインドであった。

⑤ レジオネラ症

レジオネラ症は6月、8月に2件の届出があった。病型はいずれも「肺炎型」であった。推定される感染経路は、県内(推定)での水系感染が1件、不明1件であった。

(5) 五類感染症

① アメーバ赤痢

アメーバ赤痢は3件の届出があった。年齢は30～50歳代で、性別はすべて男性であった。

② ウイルス性肝炎

ウイルス性肝炎の届出は5月に1件あった。年齢は70歳代であった。病型は「C型肝炎」であり、推定される感染経路は「針等鋭利なものの刺入による感染」であった。

③ クロイツフェルト・ヤコブ病

クロイツフェルト・ヤコブ病の届出は10月に1件あった。年齢は70歳代で病型は「孤発性プリオン病」であった。

④ 後天性免疫不全症候群

後天性免疫不全症候群は6件の届出があった。年齢層は20～50代であり、性別は全て男性、病型は「無症候性キャリア」であった。推定感染経路は不明1件を除き、国内または国外における性的接触であった。

⑤ 梅毒

梅毒は1件の届出があった。患者は20歳代の男性で、病型は「早期顕症梅毒」Ⅱ期であった。感染経路は国内での同性間性的接触と推定され、HIV無症候性キャリアであった。

⑥ 破傷風

破傷風は8月に1件の届出があった。推定感染経路は国内での創傷感染であった。

⑦ 麻しん

麻しんは1月に1件(30歳代)の届出があった。病型は「修飾麻しん」で、血清IgM抗体の検出により診断された。予防接種歴は不明であった。

表－1 全数把握対象疾患の届出数

類型	疾病名	平成23年	前年
二類	結核	291	188
三類	コレラ	1	0
	腸管出血性大腸菌感染症	14	27
四類	E型肝炎	1	0
	デング熱	1	2
	日本紅斑熱	10	5
	マラリア	1	0
	レジオネラ症	2	2
五類	アメーバ赤痢	3	3
	ウイルス性肝炎	1	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0
	後天性免疫不全症候群	6	9
	梅毒	1	3
	破傷風	1	5
	麻しん	1	0

2 定点把握対象疾患の動向（表－2）

(1) インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）

年間報告数は5,686件で、前年（1,467件）から約4倍の報告数となるが、これは、前年には流行ピークが含まれていないことによる。本年の前期は、第1週より報告数が増加し、第5週にピーク（22.8件／定点）となった。その後、減少傾向となったが、再び第16週、17週に小さなピーク（8.9件／定点）をつけ、減少した。後期では、12月中旬までは低い水準で推移したが、第51週に2.16件／定点となり、その後増加傾向となった。年齢層別報告数では、4歳以下19.9%、5～9歳31.3%、10～14歳15.8%、15～19歳5.7%、20歳以上27.3%であった。前年と比較して5～9歳の割合が増加し、20歳以上の割合が減少した。

(2) RSウイルス感染症

年間報告数は1,320件であり、前年(1,604件)から約18%減少したが、報告が始まって以来、2番目に多い報告数である。本年の前期は、前年第47週頃より増加傾向となった流行を受ける中でスタートし、第3週にピーク（4.3件／定点）となった後、春に向かってしだいに減少した。後期では、例年より約2ヶ月早い8月下旬（第35週）から報告数が増加し、高い水準（0.8～2.0件／定点）で推移した。年齢層別報告数では、0歳43.0%、1歳28.9%、2歳16.7%、3歳以上11.4%であった。前年と比

較すると、0歳の割合が約10%増加した。2歳以下の割合が約90%を占め、乳幼児に多発する傾向が見られた。

(3) 咽頭結膜熱

年間報告数は458件であり、前年（185件）から約2.5倍に報告数が増加した。本年は4月中旬（第15週）から5月にやや増加したが、全国で見られた夏季の大きな流行は見られなかった。第33週、第40週をピークとする地域流行後、11月中旬から増加傾向となり、秋から冬にかけて流行が見られた。年齢層別報告数は、1歳以下21.2%、2～3歳39.5%、4～5歳29.5%、6～7歳5.0%、8歳以上4.8%であり、5歳以下が約90%を占めた。

(4) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

年間報告数は1,449件あり、前年（652件）から約2.2倍増加し、過去10年間では、2番目に多い報告数である。前年は一年を通じて報告数の大きな増加は見られなかったが、本年は春から初夏にかけて報告数が大きく増加した。第10週には年間ピーク（2.8件／定点）を示し、6月下旬（第25週）まで増減しながら高い水準で推移した後、減少した。10月下旬より冬季流行に向けて報告数が増加傾向となった。年齢層別報告数は2～3歳17.0%、4～5歳32.9%、6～7歳26.0%、8～9歳12.5%、10～14歳5.7%であった。

(5) 感染性胃腸炎

年間報告数は7,791件あり、前年（8,997件）から約13%減少した。本年の前期は、前年第49週にピーク（15.3件／定点）となり減少傾向になった流行を受ける中始まった。1月から3月中旬を6.6～11.1件／定点で推移した後増加し、4月中旬（第16週：14.7件／定点）のピークを経て、しだいに減少した。7月～11月にかけては報告数が3件／定点前後で推移した。後期では、11月中旬（第46週）から年末に向け報告数が増加し越年した。年齢層別報告数は、0～1歳29.9%、2～3歳25.7%、4～5歳14.5%、6～7歳8.7%であった。5歳以下が全体の約70%を占めている。

(6) 水痘

年間報告数は1,612件であり、前年（1,639件）から大きな変動はなかった。本年は、前年秋から増加し始めた流行を受け始まっており、第1週をピーク（4.3件／定点）に減少した。10月中旬（第42週）に入り報告数が増加し始め、年末まで高い水準（1.6～2.4件／定点）で推移した。年齢層別報告数では、2～3歳が37.0%と多く、次いで4～5歳24.4%、0～1歳21.8%、6～7歳8.2%の順となった。5歳以下の報告が全体の約8割を占めている。

(7) 手足口病

年間報告数は2,819件あり、前年（1,000件）から約3

倍と増加し、過去10年間で最も大きな流行であった。本年は、第22週から報告数が増加し始め、第26週のピーク（21.9件／定点）を経て減少する一峰性の流行となった。流行ピークは、前年ピーク（第26週：3.8件／定点）の5倍を超える高さとなった。夏の流行後、報告数は低位で推移したが、第44週から美馬保健所管内でやや増加した。年齢層別報告数では、3歳以下からの報告が約73%、5歳以下では全体の約90%を占めており、前年と同様の傾向であった。

(8) 伝染性紅斑

年間報告数は729件あり、非流行年であった前年（33件）から約22倍と増加した。過去10年間で最も多い報告数であり、平成19年の流行以降、4年ぶりの大きな流行となった。本年は、1月から3月は0.1件／定点前後で推移したが、4月中旬以降報告数が大きく増加し、それ以降は増減しながら高い水準で推移した。年齢層別報告数では、4～5歳が29.6%と最も多く、次いで6～7歳25.7%、2～3歳19.1%の順となった。昨年と比べて、4～7歳の割合が大きく増加した。

(9) 突発性発しん

年間報告数は743件あり、前年（703件）から大きな変化はなく、例年と同様に季節的変動は少なかった。年齢層別報告数では、1歳以下が94.3%を占めており、前年と同様の傾向であった。

(10) 百日咳

年間報告数は32件あった。前年（18件）から約2倍に増加したが、第23週から第27週における地域的流行が影響している。年齢層別報告数では、10～14歳が56.3%と最も多く、次いで6～7歳が12.5%であった。前年と比較すると6～14歳の割合が増加し、20歳以上の割合が減少しており、全国の傾向と異なっている。保健所別では、徳島保健所管内、三好保健所管内から報告があった。

(11) ヘルパンギーナ

年間報告数は1,216件あり、前年（1,423件）から約15%減少した。本年の流行は5月中旬から9月にかけて見られ、ピークは第26週（8.8件／定点）であった。10月中旬から報告数がやや増加し、12月末まで0.85件／定点前後で推移した。年齢層別報告数では、1歳以下31.0%、2～3歳41.4%、4～5歳19.1%、6歳以上8.5%であり、5歳以下が約92%を占めた。

(12) 流行性耳下腺炎

年間報告数は1,777件であり、前年（1,444件）に引き続き流行年となった。本年は、前年からの流行を受ける中スタートし、第1週にピーク（3.0件／定点）となった。その後やや減少傾向が見られたが、2月下旬から報告数

が増加し、第13週に2度目のピーク（2.8件／定点）となった。4月下旬から10月まで1.2件／定点前後で推移した後再度増加となり、第50週に3度目のピーク（2.7件／定点）を示した。年齢層別報告数では、4～5歳が31.5%と最も多く、次いで2～3歳24.6%、6～7歳19.7%と、2～7歳の報告数が全体の約76%を占めた。

3 眼科定点報告対象疾患の動向

急性出血性結膜炎は、報告はなかった。

流行性角結膜炎の年間報告数は19件であり、前年（31件）から約39%減少しており定点あたり報告数が0.5件／定点以下で推移した。年齢層別報告数では、20歳以上が90.4%、5～9歳5.3%、10～14歳5.3%を占めた。

4 基幹定点報告対象疾患の動向

(1) 週報告対象疾患

細菌性髄膜炎は5件あり、前年（10件）から半減した。年齢層別報告数では、1歳未満1件、30歳代1件、40歳代2件、70歳代1件であった。病原体では、脳脊髄液より大腸菌、セレウス菌、セラチア属菌が各1件ずつ検出されている。

無菌性髄膜炎は11件あり、過去10年間では、平成14年（11件）と並んで最も多い報告数となった。発生時期では、前年が夏季の発生だったのに対し、本年は年間通じて発生が見られた。年齢層別報告数では、5歳未満3件、5～9歳4件、10～14歳1件、20歳代1件、40歳代1件、70歳代1件であった。病原体では、ムンプスウイルスが2件検出されている。

マイコプラズマ肺炎は88件あり、前年（43件）に比べて約2倍の増加となった。過去10年間では、最も多い報告数であり、年間報告数が2年連続で増加した。年齢層別報告数では、1～5歳45.5%、6～9歳42.0%、10～14歳10.2%、20歳代以上2.2%であった。1～9歳の報告数が全体の約88%を占め、幼児及び学童に多い傾向がみられた。

クラミジア肺炎は報告がなかった。過去5年間の発生状況は、前年に1件報告があったのみである。

(2) 月報告対象疾患（表－3）

薬剤耐性菌感染症の総報告数は353件であり、前年（473件）に比べ約25%減少した。

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症は、338件（男性221件、女性117件）あり、前年（439件）より減少した。年齢層別では70歳以上からの報告が多く、全体の約72%を占めた。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症は、13件（男性7件、女性6件）あり、前年（23件）と比べ約43%減少した。年齢層別では10歳未満（46%）、70歳以上（38%）が多

かった。

薬剤耐性緑膿菌感染症は2件（男性2件、女性0件）あり、前年（11件）から減少した。年齢層はすべて70歳以上であった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成23年2月から新たに追加されたが、報告はなかった。

5 性感染症定点報告対象疾患の動向（表－4）

性器クラミジア感染症の年間報告数は147件（男性126件、女性21件）と、前年（172件）から約15%減少した。年齢別報告数では、25～29歳の年齢層の報告数が最も多く、20,30歳代の報告が全体の72%を占めた。

性器ヘルペスウイルス感染症の年間報告数は83件（男性35件、女性48件）であり、前年（93件）から約10%減少した。25～29歳の年齢層の報告数が最も多く、20～30歳代で全体の約46%を占めた。また、他の性感染症と比較して60歳以上の占める割合が多いが、高齢者では潜伏していたウイルスによる再発の可能性もある。

尖形コンジローマの年間報告数は44件（男性38件、女性6件）であり、前年（60件）から約27%減少した。20～24歳の年齢層からの報告数が最も多く、20～30歳代で全体の約64%を占めた。

淋菌感染症の年間報告数は37件あり、前年（31件）と大きな変化はなかった。男女別では、すべて男性の報告で、女性の報告はなかった。年齢層別では、35～39歳の年齢層からの報告が最も多く、20～30歳代が全体の約66%を占めた。

Ⅳ まとめ

平成23年の感染症発生動向調査に基づく患者発生状況について、その動向を検討した。

- ① 全数把握対象疾患では、「結核」、「日本紅斑熱」の届出が例年より多かった。また、海外からの輸入感染症として、「コレラ」「マラリア」「デング熱」の届出があり、海外渡航に際しての感染症予防について、さらに啓発していきたい。
- ② 小児科定点報告疾患では、手足口病、伝染性紅斑、流行性耳下腺炎の3疾患で過去10年間において最も多い報告数となった。手足口病では、前年の約3倍の報告数と増加し、コクサッキーウイルスA6型が病原体として検出されるなど例年と異なった傾向が見られた。伝染性紅斑では、4年ぶりの大きな流行となり報告数が増加した。流行性耳下腺炎では、前年からの大きな流行が継続したため報告数の増加となった。
- ③ 眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎は報告がなく、流行性角結膜炎は前年と変化がなかった。
- ④ 基幹定点報告疾患では、週報告対象疾患の無菌性髄膜

炎及びマイコプラズマ肺炎が過去10年間でもっとも多い報告数となった。月報報告対象疾患である薬剤耐性菌感染症はすべての疾患で前年を下回った。

- ⑤ 性感染症疾患では、総報告数の約半数を性器クラミジア感染症が占めた。総報告数は、前年（356件）からやや減少したが、報告数の多い20歳代、30歳代を中心に引き続き啓発を行うとともに、10歳代からも報告があるた

め、若年者に対する予防教育も必要である。

今後も引き続きデータの集積を行い感染症の発生動向に注意していくとともに、ホームページ等を活用し、県民により分かりやすい形で迅速かつ適切な情報提供を行っていきたい。

表－2 内科，小児科，眼科定点報告対象疾患の週別報告数

週	期間	インフルエンザ	感 R S ウィル 症 ス	咽 頭 結 膜 熱	球 菌 A 群 溶 血 性 レ ン サ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 疹	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
1	1/ 4 ~	64	67	7	20	207	99		2	8	1		69		
2	1/ 11 ~	146	75	1	13	219	56	2	1	18			53		
3	1/ 18 ~	358	101	4	21	180	54	1	3	12		1	39		
4	1/ 25 ~	600	91	1	23	153	35	1	1	7			41		
5	2/ 1 ~	869	80	4	18	194	28	2	6	10			40		
6	2/ 8 ~	740	74	3	24	217	37			14			37		
7	2/ 15 ~	360	60	2	15	197	37	2	5	15		1	43		
8	2/ 22 ~	246	35	2	33	208	45		2	7	2		30		
9	3/ 1 ~	141	33	5	48	256	53	1	4	15	1		37		
10	3/ 8 ~	104	22	3	66	254	45		6	20			49		2
11	3/ 15 ~	103	20	3	53	251	38		4	12	3		47		1
12	3/ 22 ~	111	9	1	35	190	42		2	10			49		
13	3/ 29 ~	96	4	4	32	235	32		6	14			65		
14	4/ 5 ~	78	1	4	56	271	31		3	13	1		37		
15	4/ 12 ~	108	17	7	40	262	21		2	17			29		
16	4/ 19 ~	331	5	10	45	338	16	2	11	17			30		
17	4/ 26 ~	341	10	11	63	283	27		16	17	1		21		
18	5/ 3 ~	221	1	10	32	187	23	6	9	16	1	1	25		1
19	5/ 10 ~	126		13	30	163	23	4	10	11		2	25		1
20	5/ 17 ~	121	3	9	32	134	27	9	12	12		3	27		
21	5/ 24 ~	60	1	14	51	147	24	9	14	11		9	18		
22	5/ 31 ~	49	2	10	43	122	19	31	17	19		12	35		
23	6/ 7 ~	10	3	7	35	108	27	64	13	11	1	48	28		
24	6/ 14 ~	2	1	6	29	122	38	156	33	13	4	56	42		
25	6/ 21 ~		1	2	52	70	33	365	30	18	3	165	31		1
26	6/ 28 ~	1		8	22	84	42	504	16	12	7	203	28		2
27	7/ 5 ~		2	6	15	70	23	501	18	25	1	194	35		1
28	7/ 12 ~		5	5	24	74	34	364	25	11		124	19		
29	7/ 19 ~		3	11	21	65	15	140	18	13	2	52	23		
30	7/ 26 ~		1	5	17	69	33	81	29	11	1	34	40		1
31	8/ 2 ~		1	7	18	72	17	34	25	19		16	21		
32	8/ 9 ~		5	8	9	74	20	23	18	16	1	9	28		
33	8/ 16 ~		10	18	16	85	20	34	25	12		12	30		1
34	8/ 23 ~		9	9	10	60	18	28	15	10		16	23		1
35	8/ 30 ~		38	12	20	72	10	21	27	21		16	22		1
36	9/ 6 ~		40	6	18	73	15	21	21	14		13	13		1
37	9/ 13 ~		29	6	19	64	17	19	21	22		10	18		
38	9/ 20 ~	1	30	5	11	48	9	18	6	13		10	23		1
39	9/ 27 ~		19	2	12	63	13	22	13	12		7	20		1
40	10/ 4 ~		45	23	16	81	7	31	22	12		16	26		
41	10/ 11 ~		29	20	20	77	13	16	18	14		5	19		1
42	10/ 18 ~		46	5	22	55	20	31	14	11		28	27		
43	10/ 25 ~		30	12	12	75	19	35	12	18	1	27	26		
44	11/ 1 ~		19	8	19	74	24	42	19	20		24	32		
45	11/ 8 ~	1	26	14	27	86	22	49	26	17		28	40		
46	11/ 15 ~	22	35	12	26	133	47	23	31	12		17	36		
47	11/ 22 ~	14	30	20	31	149	47	20	9	21		14	33		
48	11/ 29 ~	23	38	21	23	188	38	24	15	15		15	50		
49	12/ 6 ~	37	28	23	36	188	37	27	23	18		9	50		
50	12/ 13 ~	26	25	20	30	207	45	23	16	12		11	63		
51	12/ 20 ~	82	27	24	23	264	40	20	21	15	1	7	39		1
52	12/ 27 ~	94	34	5	24	273	57	13	14	10		1	46		1
合計		5,686	1,320	458	1,449	7,791	1,612	2,819	729	743	32	1,216	1,777	—	19

表－３ 基幹定点（月報）報告対象疾患の月別報告数

	メチシリン耐性 黄色ブドウ 球菌感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性緑 膿菌感染症	薬 剤 耐 性 アシネトバクター 感 染 症
１月	18	1	1	
２月	38	2	－	－
３月	33	1	－	－
４月	35	1	－	－
５月	26	1	－	－
６月	28	－	－	－
７月	22	1	－	－
８月	22	2	－	－
９月	33	1	－	－
10月	31	2	－	－
11月	27	1	－	－
12月	25	－	1	－
合計	338	13	2	－
前年	439	23	11	

表－４ 性感染症定点報告対象疾患の月別報告数

	性器クラミ ジア感染症	性器ヘルペ ス 感 染 症	尖形コンジ ロ ー マ	淋 菌 感 染 症
１月	11	4	3	2
２月	12	5	5	4
３月	14	5	2	1
４月	14	5	1	4
５月	15	8	5	1
６月	10	8	6	1
７月	7	10	4	1
８月	15	8	5	7
９月	15	12	2	2
10月	14	7	3	5
11月	7	4	4	6
12月	13	7	4	3
合計	147	83	44	37
前年	172	93	60	31